

防災の ススメ

「もしも」に備えを!

■防災対策課 ☎57-8501



11月5日(日)9時00分のサイレンを合図に各地区での避難訓練を実施し、避難訓練終了後は、野市小学校グラウンドにおいて総合防災訓練を開催。市内全域で3,996人が参加しました。

野市小学校では、自衛隊や消防防災航空隊のヘリコプターによる被害状況調査訓練、倒壊家屋からの救助訓練、自衛隊・警察・消防本部など関係機関が合同で震災対応訓練を実施しました。

また、煙体験コーナーやAEDを使った救急救命講習などのブースも展示し、多くの来場者に体験していただくことができました。

多くの方が防災訓練に参加してください、ありがとうございました。

- 1 自衛隊ヘリコプターによる孤立地区からの救出訓練
- 2 自主防災組織の方々による倒壊家屋からの救出訓練
- 3 野市町女性防火クラブの方々やLPガス協会の協力による非常食の炊き出し訓練
- 4 火災が発生した際の煙体験コーナー
- 5 野市消防団によるチェーンソーなどを使っての倒壊家屋からの救出訓練
- 6 訓練用の消火器を使って使い方などの体験学習
- 7 心臓マッサージやAEDを使った心肺蘇生法の体験学習



香南市総合防災訓練 を開催しました



13



9



10



11



12



14

- 9 車では通ることのできないがれきの上をバイクで進んでいく南国警察署による情報収集訓練
- 10 香南市建設産業関連協会による重機を使ってのがれき撤去
- 11 倒壊家屋の中に負傷者が取り残されたことを想定し、JA高知病院のDMATによる治療を行ったあと消防職員による救出訓練
- 12 高知レスキュードッグチームによる倒壊家屋の中に取り残された人がいないか、災害救助犬の捜索訓練
- 14 車両の中に負傷者が閉じ込められたことを想定した自衛隊による救出訓練

今回、アンケートで皆さんから挙げられたご意見や訓練を通して見つかった課題等は、今後の訓練などの参考に改善していくよう努めていきます。いただいた意見と回答を市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

家族で話し合おう! もしもの時、何が必要?

香南市では備蓄目標数量を、想定最大避難者数である12,000人の1日分とし、最低限下記品目の備蓄を保存年限等を考慮し、計画的に備蓄しています。また、津波避難タワー内にも収容人数にあわせた1日分の備蓄品整備を進めています。



- 備蓄品**
- ①食料(アルファ米・お粥等) ②飲料水 ③毛布 ④生理用品
 - ⑤おむつ(乳幼児・大人) ⑥簡易トイレおよび便処理袋

- 津波避難タワー内備蓄品**
- ①食料(焼き菓子等) ②飲料水 ③レスキューシート
 - ④簡易トイレおよび便処理袋

大事ななのは、平常時の準備です!

市民の皆さんも『自らの身の安全は自ら守る』ということを念頭に、平常時から災害に備えて各家庭や事業所等において**3日以上(7日以上が望ましい)**の食料・飲料水・生活必需品の備蓄、非常持出品の準備をお願いします。



非常持出品

非常持出品は避難するときに持ち出す最小限の必需品のことです。(持病のある方はお薬手帳を必ず持ち出すようにしましょう。また、住民票のコピー、現金等も持出品に入れるようにしましょう)

備蓄品

備蓄品は救援物資が届くまでの間、生活するためのものです。(キャンプ用品や日常生活の中で使う食料を多めに常備し、使いながら災害に備えることで備蓄を生活の中に取り込むことができます) 備えていれば、避難した後も、落ち着いてから備蓄品を家に取りに帰ることもできます。

